

アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名[金沢大学附属小学校] 担当教諭[中山信之]			
児童生徒の学年・クラス・参加人数:[6年3組 36名]			
実施期間: 2010年 7月 ~ 2011年 3月			
交流:有 国名[インドネシア] 学校名[PETEMON13] 学年[5] 担当教諭[Mr.Endo]			
実施教科・時数	教科	単元名	時数
アートマイルに関連した時間すべて(総合は外国語活動、環境など中身がわかるよう)。必要に応じて行を追加してください。	総合的な学習の時間	アートマイル“生物多様性”プロジェクト	50時間

■作品について教えてください。

題(テーマ)	現実から過程、そして理想へ
絵に込めたメッセージ	人間の行動が生物の多様性に与えている影響を考え、これからどのように行動していくことが、地球環境にいいのかを考え、理想に向かっていく姿を表現した。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	7月	・生物多様性について考える。 身の回りの環境変化や熊が山を降りて街に来るのはなぜか。 ・インドネシアへの自己紹介ビデオ作り。	・今、生物に起こっていることが何かおかしい。これは、人間の生活が影響しているのかもしれない。 ・英語で話すのははずかしいな。でもインドネシアの子と友達になりたいな。	総合
情報収集	9月	・大学の先生をゲストティーチャーとして招き、生物多様性とは何か、今起こっていることは何かを教えていただいた。 ・テレビ会議にてお互いの紹介	・インドネシアはたくさんの島から成り立っているんだね。多くの熱帯雨林や動物がいるんだね。でも、インドネシアも森林が伐採されていて多くの動物のすみかが奪われているのはなぜだろう。 ・インドネシアをもっと知りたいな。	
テーマ検討	10月	・インドネシアや日本の生物多様性をテレビ会議で紹介しあう。 ・インターネットでの調べ学習 内容は2点。一つはインドネシアについて、もう一つはインドネシアの生物多様性について。 ・テーマを決定する。	・インドネシアでも生物多様性について問題があるのだな。 ・インドネシアや日本の生物は人間の生活が原因で、環境の変化ですみかが奪われているんだ。人間が地球を守らなければいけないんだ。 ・生物多様性の視点からでもインドネシアと日本はつながっている。現在の私たちの暮らしを変えることが未来につながっていくことを絵にしたいな。	
制作	11月	・グループ分け ・アイディアスケッチ ・下書き ・彩色	・自分の調べていたことを絵に入れたいな。 ・みんなのアイディアを一つに集めた絵にするために話し合おう。 ・完成を目指して、丁寧に色を塗ろう。	
鑑賞	12月	・日本サイドの完成した絵を鑑賞しよう。	・この絵をたくさんの人に見せてほしいな。感じたことや学んだことを多くの人に届けたいな。	

■学習目標と成果はどうでしょうか？（「重視」には指導にあたって重視したものを1位～5位まで記入を、「先生の手応え」はすべてについて以下の1～5で評価してください。）

（5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:まったく関連がなかった）

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
コミュニケーション・スキル	○	5・④・3・2・1	いろいろな場面で相談する必要性が生まれ、決定に向けた話し合いをするたびに力をつけた。
情報活用能力(収集・発信)	○	⑤・4・3・2・1	マインドマップ等、シンキングツールを生かして、情報からよりよい判断をする力が育まれた。
人間関係をつくる(交流相手・学級内)		5・4・3・②・1	交流する回数が思ったほど多く実現できなかった。
協同作業をする力(役割・段取り)	○	5・④・3・2・1	壁面を完成させるという明確な目的のために、協働で物事を進めるという力がついた。
異文化の理解		5・4・③・2・1	学校にお祈りの時間があるなど、イスラム教ならではの習慣を知ることができた。
自文化の理解・自分を見つめる		5・④・3・2・1	日本にはトキという美しい鳥がいたこと、そしてその鳥がいた環境をよみがえらせたいという思いを強く感じる事ができた。
表現力		5・④・3・2・1	生物多様性イベントでわたしたちの学習の成果を一般の方へ発表することができた。
学習を追究する意欲	○	5・④・3・2・1	交流する相手がいるからこそ、意欲が高まった。
作品を鑑賞する力		5・4・3・②・1	相手校からの完成作品が届いていませんので、不十分なところがあります。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
ねらっていた情報をもとにした思考力を育む取り組みはよかったと思いました。意思決定しなければいけない場面が多く、クラスの話し合いもたくさんできました。また、大きなイベントに参加できたことも子どもの成長の1ページという意味でも良かったと思います。	やはり、テレビ会議を予定していたのだけどうまくいかなかったことです。回線がうまくつながらなかったのは、インドネシアの通信状況によるものかもしれませんが、さまざまなことを想定して、臨機応変に対応しきれなかったことはこちらの反省点です。

■アートマイルに対する校内・保護者や地域の方の反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報の機会	校内・保護者や地域の方からの反響
新聞やテレビでも本校の生物多様性に対する取り組みが紹介されました。また、県のイベントにも参加することができ、よい発表の機会を得ました。	保護者からは多くの「やっていたらよかった」という反響がありました。これからの日本人にとって必要なことだと理解を示してくださる方がたくさんいらっしゃいました。

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

一年間たいへんなこともありましたが、子どもたちは充実した学びをすることができました。子どもたちの思い出もたくさんできました。本当に、本当にありがとうございました。